

和歌山県認知症疾患医療センター

市民公開講座

(第16回研修会)

第6回

入場
無料

日時

2019年

1月26日(土)

15:00~17:00 (開場 14:30~)

場所

和歌山県立医科大学
講堂 和歌山市紀三井寺 811-1

どなたでもご参加いただけます。

参加のお申し込みは不要です。

直接会場にお越しください。



特別
講演

15:00~15:40

演題

認知症になってもだいじょうぶ! そんな社会を創っていきましょう

講師: 一般社団法人
日本認知症本人ワーキンググループ
(JDWG) 代表理事 藤田 和子

対談者: 和歌山県立医科大学附属病院
脳神経内科 助教 安井 昌彰

シンポ
ジウム

15:55~16:55

座長: 和歌山県立医科大学附属病院
脳神経内科 助教 安井 昌彰

コメンテーター: 一般社団法人
日本認知症本人ワーキンググループ
(JDWG) 代表理事 藤田 和子

演者: 和歌山県長寿社会課 主任 伏木 一郎

一般社団法人
和歌山県認知症支援協会 代表理事 林 千恵子

有限会社 プライムタイム 代表取締役 木村 公美

特別講演講師 /

ふじた かずこ

藤田 和子 先生

一般社団法人
日本認知症本人ワーキンググループ
(JDWG) 代表理事



プロフィール

1961年生まれ。鳥取市で看護師として、総合病院に7年、個人病院に8年勤務。同居する義母、義父を10年余り介護。

2007年: 45歳で若年性アルツハイマー病と診断される。

2010年: 鳥取市で「若年性認知症問題にとりくむ会・クローバー」を設立。(2014年にNPO法人化、現在副理事長)

2011~2013年: 鳥取市差別のない人権尊重の社会づくり協議会委員。

2014年10月: 日本認知症ワーキンググループ(認知症の人の活動体)設立に加わり、共同代表となる。

2017年9月: 「本人たちのための、本人たちによる、本人たちの活動」を、各地域で実践していくために、一般社団法人化(日本認知症「本人」ワーキンググループ)、現在、代表理事。

○著書に、「認知症になってもだいじょうぶ! そんな社会を創っていきましょう」(徳間書店、2017年)。

主催 / 和歌山県認知症疾患医療センター 和歌山県立医科大学附属病院

お問い合わせ / 和歌山県立医科大学附属病院 認知症疾患医療センター ☎073-441-0776

シンポジウム 演者紹介

和歌山県長寿社会課 主任 **伏木 一郎**

今年度から県において認知症総合推進事業の担当をしており、各市町村の認知症担当者や県立医科大学の相談員たちと情報交換を図りながら、医療圏域単位で、認知症のサポート体制を整えるため、取組を進めている。

一般社団法人 和歌山県認知症支援協会 代表理事 **林 千恵子**

認知症の姑と関わり共に暮らした経験から 2005 年に NPO を設立し、2011 年一般社団法人に移行。当事者や家族の相談支援をおこなう中で、近年は協会事務局を若年性認知症の人の居場所として開放している。当事者の声を汲み取り『今その人に必要な関わり』を大切に、支援を継続していきたいと考えている。

有限会社プライムタイム 代表取締役 **木村 公美**

2005 年有限会社プライムタイムを起業。「とっておきのひと時を・・・」過ごして頂ける居場所作りとして、通所介護施設を開設。同時に認知症になっても地域での生活をとのおもいより、グループホームを開設。その後居宅介護支援事業所・有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅の経営を行ってきた。近年は障がい者の方々が集える場として地域活動支援センター I 型・相談支援事業所を立ち上げ、共生社会の実現を目指している。

交通アクセス

電車のご利用

JR きのくに線 紀三井寺駅下車 徒歩約 7 分

バスのご利用

JR 和歌山駅または南海和歌山市駅から
和歌山バス「医大病院」または「医大病院前」下車
（「医大病院前」バス停は国道42号線沿いにあります。）

お車で来院された方は**立体駐車場(有料)**へ駐車して下さい。



お問い合わせ先

和歌山県立医科大学附属病院
認知症疾患医療センター

073-441-0776